

授業科目：母性看護学臨地実習 3年次 実習 2単位 90時間

時間	項目	内容
90	母性看護学臨地実習	実習要項参照
目的：周産期における母性の特徴を理解し、母子とその家族に応じた看護を提供するための基礎的能力を養う。また地域における母子保健活動の実際について学ぶ。		
目標： 1. 妊婦や胎児の健康状態を把握し、妊婦健康診査や保健指導の必要性と外来における看護の役割について説明する。 2. 対象の母と児の健康を維持するために、妊娠期から分娩・産褥期と新生児期の経過をもとにセルフケア能力を高め維持するための看護の実際を述べる。 3. 対象の母と児の健康を維持するために、対象の状況に応じた看護を実施する。 4. 地域の子育て支援事業に参加することで、事業の実際を理解しその必要性について述べる。 5. 生命の尊厳や母性について、自己の考えを深める。		
評価方法：実習評価表に基づいて評価する。		
先修科目：母性看護学方法論Ⅱ、母性看護学方法論Ⅲ、成人看護学臨地実習Ⅰ		
実習場所：新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院、南魚沼市ほのぼの広場		